

「もしかしたら」と思ったら、まずはご相談ください

無意識のうちに高齢者虐待になっていませんか？



◆高齢者虐待とは

高齢者が他者からの不適切な扱いにより、権利利益を侵害される状態や、生命、健康、生活が損なわれるような状態におかれていることをいいます。虐待を防ぐために、地域や家庭で一緒に考え、声かけや見守りなど気軽にできることから始めてみましょう。

◆このような行為は高齢者虐待になります

身体的虐待

叩く、蹴る、ベッドに縛り付ける、無理やり食べ物や口の中に入れるなど、高齢者への暴力的行為。



心理的虐待

排泄の失敗に対して恥をかかせる、子ども扱いする、悪口をいうなど、心理的外傷を与える言動。



経済的虐待

合意なしに財産や金銭を使用したり、日常生活に必要な金銭の使用を理由なく制限したりする行為。



介護や世話の放棄

空腹、脱水、低栄養状態のままにする、劣悪な状態や環境で放置するなど、養護を著しく怠る行為。



性的虐待

性的な行為を行ったり、強要したりする行為。

セルフネグレクト(自己放任)を知っていますか？

セルフネグレクトとは、高齢者が自らの意思で介護・医療サービスの利用を拒否するなどにより、社会から孤立し、生活行為や心身の健康維持ができなくなっている状態をいいます。高齢者の権利が損なわれていると解されることから、虐待防止と同様に周囲の支援が必要です。



◆このようなことで悩んでいませんか？身近に気になる人はいませんか？

- 高齢者 「家族に暴力を受けている」「勝手に年金を使われてしまう」
- 家族・親族 「介護負担が重く、耐えられなくなりそう」「家族が両親に虐待をしているみたい」
- 地域住民 「近所から叩く音や怒鳴り声がする」「最近、近所の高齢者をみかけなくなった」

ひとりで悩まず、ご相談ください

高齢者虐待は介護疲れやストレス、経済的困窮など、さまざまな要因が重なり合って発生するものです。解決のためには、虐待を受けた高齢者の保護だけでなく、虐待を起こしてしまった人の負担を軽くし、生活の再建を支援していくことが大切です。

自覚がなく虐待をしている、受けている場合も少なくありません。虐待を受けている高齢者本人は、自ら声を上げることが難しい場合もあります。高齢者にかかわる身近な人が虐待を疑わせるサインを見逃さず、「もしかしたら」と思ったら、まずは城里町地域包括支援センターにご相談ください。秘密は厳守します。情報が相手方に伝わることはありません。



相談先・問合せ 城里町地域包括支援センター(長寿応援課内) ☎029-353-7125 (直通)